

地域企業が共に学び、モノづくり現場改善を高め合う発表・交流イベント

改善事例発表大会2026

西日本地域

現場の知恵と挑戦が未来を拓く ~改善事例発表大会の開催に寄せて~

「もっと現場を良くしたい」という情熱をもとに、チームワークや現場の知恵と工夫を駆使した発表事例。本大会で発表されるみなさんの粘り強い取り組みや、発表に至るまで準備してきた挑戦に深く敬意を表します。活動から生み出される挑戦と成果は、まさに**日本のモノづくりの原動力**と言えます。

また、本大会は同業種・異業種・異分野から学べる貴重な**相互研鑽の場**でもあります。これまでになく気づきや発想を、自社での活動に活かしていただくことに期待しております。

昨今、**人手不足**や**DXの急速な進展**など、さまざまな環境変化がありますが、現場の創意工夫と人材育成こそが、日本のモノづくりの競争力の源泉です。本大会が日本のモノづくりの**「現場力」**をさらに高め、みなさんの成長と日本のモノづくりの明るい未来を切り拓く契機となることを確信しております。みなさんの一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



公益社団法人日本プラントメンテナンス協会
会長 河合 満
(トヨタ自動車株式会社 エグゼクティブフェロー)

改善事例発表大会の3つの特色

製造・保全の最前線の改善事例が集う発表大会です！

1. 現場で“本当に効いた”改善事例から、実践力が高まる！

→ 考え方・進め方・工夫のポイントを学び、**自分たちの現場で活かせる力**を養います。

2. 発表者との交流で、現場を動かすヒントが得られる！

→ 苦労や失敗も含めた生の話から、**具体的な行動につながる気づき**を得られます。

3. 刺激が主体性を引き出し、現場力の好循環を生む！

→ 他社事例が改善意欲を高め、**人と組織を成長させる現場力向上**につながります。



発表企業

企業名50音順
法人格略

発表数：**10社！**

発表事例数：**10事例！**

アイシン九州

トヨタ自動車九州

旭化成

トヨタ紡織九州

クラサケミカル

日本ゼオン

住友化学

マツダ

東ソ-

UBE

開催情報（西日本地域）

2026年6月17日（水）開催
海峡メッセ下関

今大会の西日本地域では、下記の発表傾向の特色がみられます



イベントの詳細・お申込みは、

改善事例発表大会 公式サイト

<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>



全国設備管理強調月間とは？

経営者層をはじめ全従業員の設備管理への意識を高め、設備管理の重要性を広く認識いただくことで、産業界の生産性向上のみならず環境保全や事故、災害防止に寄与することを目的としています

時間		発表情報		
09:30▶		開場・受付開始		
10:00▶10:10		開会のあいさつ		
事例1	10:10 ▼ 10:30	工務・保全 熱交換器の大口径フランジ現地補修及び管理方法の改善	合田 泰弘	<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● コストダウン
	東ソー株式会社 南陽事業所 設備管理部 工務第二課			
事例2	10:30 ▼ 10:50	工務・保全 自主保全強化による工程異常削減	齋藤 智貴	<発表キーワード> ● 自主保全 ● 人財育成 ● 安全
	日本ゼオン株式会社 徳山工場 設備管理課保全係機械班			
10:50▶11:00		休憩		
事例3	11:00 ▼ 11:20	工務・保全 省エネ型エアノズル導入によるエア消費量低減への取り組み	小柳 麟太郎	<発表キーワード> ● 環境・省エネルギー ● コストダウン
	トヨタ紡織九州株式会社 宮田工場 技術部 設備・施設管理課 宮田保全係			
事例4	11:20 ▼ 11:40	工務・保全 スカム回収ポンプ昇圧不良対策	安藤 達也	<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 改良保全 ● 改善活動の水平展開
	クラサケミカル株式会社 大分コンビナート 工務部 工務一グループ			
事例5	11:40 ▼ 12:00	工務・保全 潜在的異物混入リスク評価表の確立	渡邊 裕介	<発表キーワード> ● 品質安定化・向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 設備の信頼性向上
	住友化学株式会社 大分工場 工務部			
12:00▶12:45		昼休憩(お弁当をご用意しております)		
事例6	12:45 ▼ 13:05	工務・保全 診断技術によるマシニングセンター故障ロス削減の取り組み	中村 雄一	<発表キーワード> ● 予防保全・予知保全 ● 設備の管理方法・基準の見直し
	マツダ株式会社 防府工場 中関地区 第4パワートレイン製造部 パワートレイン工務技術グループ工務係 班長			
事例7	13:05 ▼ 13:25	運転・製造 理論値からの良品条件確立と動作経済の原則に基づいた研究	栗寄 良和	<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 作業の効率化・容易化
	アイシン九州株式会社 生産本部 製造部 工長			
13:25▶13:35		休憩		
事例8	13:35 ▼ 13:55	工務・保全 【一粒万倍】製品ベレットの形状不良低減による生産性向上	藤野 新	<発表キーワード> ● 品質安定化・向上 ● 設備の信頼性向上
	旭化成株式会社 レオナ樹脂・原料工場 延岡第一設備技術部 レオナ設備技術課			
事例9	13:55 ▼ 14:15	工務・保全 設備・金型故障撲滅への挑戦 ～AIを活用した新時代への取り組み～	宮本 健太	<発表キーワード> ● デジタル技術を利用した改善 ● 設備の信頼性向上 ● 人財育成
	トヨタ自動車九州株式会社 宮田工場 車体部 車体設備課			
事例10	14:15 ▼ 14:35	運転・製造 押出機スクリュウのシャフト折損及びエレメント破損撲滅	宇田川 健	<発表キーワード> ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 設備の信頼性向上
	UBE株式会社 宇部事業所 宇部ケミカル工場 化成品製造部 コンポジット製造グループ コンポジットチーム チームリーダー			
14:35▶14:45		休憩		
14:45▶15:45		発表者との交流会		
15:45▶16:00		全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介		
16:00▶16:15		表彰式		

<p>事例1</p> 	<p>熱交換器の大口径フランジ現地補修及び管理方法の改善</p> <p>東ソー株式会社 南陽事業所 設備管理部 工務第二課</p> <p style="text-align: right;">合田 泰弘</p> <p>高温下で使用する熱交換器の大口径フランジにクリープ変形を認めたため、現地での3D測定及びフェーサー加工を実施した。また、変形防止対策としてフランジ温度低減及び締付トルク適正化を行い、寿命延長を図った事例を発表する。</p>	<p>事例6</p> 	<p>診断技術によるマシニングセンター故障ロス削減の取組み</p> <p>マツダ株式会社 防府工場中関地区 第4パワートレイン製造部 パワートレイン工務技術グループ 工務係 班長</p> <p style="text-align: right;">中村 雄一</p> <p>設備不具合によるライン停止が多発しており不具合箇所を特定するのに従来の点検方法では時間がかかり復旧までにロスが発生していた。点検時間の短縮と事前の不具合の解消を目的に活動を進めてきた事例を発表する。</p>
<p>事例2</p> 	<p>自主保全強化による工程異常削減</p> <p>日本ゼオン株式会社 徳山工場 設備管理課保全係機械班</p> <p style="text-align: right;">齋藤 智貴</p> <p>現在弊社では製造部門オペレーターの若返りにより、「自主保全」力量不足起因の工程異常が発生している。この課題に対し、専門保全の眼から自主保全の問題を明らかにし、若手オペレーターでも理解できる動画での自主保全教育資料を作成することで、工程異常削減につながる取り組みを行った事例を発表する。</p>	<p>事例7</p> 	<p>理論値からの良品条件確立と動作経済の原則に基づいた研究</p> <p>アイシン九州株式会社 生産本部 製造部 工長</p> <p style="text-align: right;">栗寄 良和</p> <p>理論値を算出し、再発しない良品条件を求める活動と動作経済の原則に着目し、改善を行い、目標達成ができた事例の発表です。①チョコ停の低減 ②速度低下の低減の改善事例を発表する。</p>
<p>事例3</p> 	<p>省エネ型エアノズル導入によるエア消費量低減への取組み</p> <p>トヨタ紡織九州株式会社 宮田工場 技術部 設備・施設管理課 宮田保全係</p> <p style="text-align: right;">小柳 麟太郎</p> <p>エアブロー工程に省エネ型エアノズルを導入し、設備変更を伴わず圧縮エア使用量の低減を実現。導入前後の流量を可視化して削減効果を実証し、品質を担保しつつ他工場へ横展開。全社の省エネを推進する改善についての事例を発表する。</p>	<p>事例8</p> 	<p>【一粒万倍】製品ペレットの形状不良低減による生産性向上</p> <p>旭化成株式会社 レオナ樹脂・原料工場 延岡第一設備技術部 レオナ設備技術課</p> <p style="text-align: right;">藤野 新</p> <p>長期にわたり突発対応を繰り返していた製品ペレットの形状不良について、工場、施工企業一丸となって発生メカニズムを特定し、品質改善につなげた取組みについての事例を発表する。</p>
<p>事例4</p> 	<p>スカム回収ポンプ昇圧不良対策</p> <p>クラサスケミカル株式会社 大分コンビナート 工務部 工務グループ</p> <p style="text-align: right;">安藤 達也</p> <p>スカム回収ポンプはプラントの連続運転において欠かせない機器であるが、過去より昇圧不良による繰り返しトラブルが頻発している状況にあった為、新技術導入による改造により故障ゼロ化を図った事例を発表する。</p>	<p>事例9</p> 	<p>設備・金型故障撲滅への挑戦 ～AIを活用した新時代への取組み～</p> <p>トヨタ自動車九州株式会社 宮田工場 車体部 車体設備課</p> <p style="text-align: right;">宮本 健太</p> <p>素材形状の複雑化に伴い、設備・金型故障は増加傾向にある。潜在的なリスクを顕在化させるため、AIを活用した状態監視を導入し、故障撲滅に取り組んだ。併せて、新たな技術を担う人材育成につなげることを目標に推進した事例を発表する。</p>
<p>事例5</p> 	<p>潜在的異物混入リスク評価表の確立</p> <p>住友化学株式会社 大分工場 工務部</p> <p style="text-align: right;">渡邊 裕介</p> <p>設備由来の製品異物混入を防止するため、リスク箇所を体系的に抽出・評価し、過去トラブル事例を活用した対策を実施。潜在・顕在リスクの両面から品質管理を強化する取り組みについての事例を発表する。</p>	<p>事例10</p> 	<p>押出機スクリュウのシャフト折損及びエレメント破損撲滅</p> <p>UBE株式会社 宇部事業所 宇部ケミカル工場 化成品製造部 コンポジット製造グループ コンポジットチーム チームリーダー</p> <p style="text-align: right;">宇田川 健</p> <p>樹脂コンパウンドの二軸混練押出機にてスクリュウのシャフト折損が発生。複合的な要因であることが判明し、①溶解温度調整、②水素脆化などの対策を講じることで、シャフト折損は撲滅できたが、一方でエレメント破損が頻発し始めた。追加調査にて、エレメント径の管理見直しを行い、エレメント破損も撲滅することができた。複合的な要因が絡む中、関係部門と連携し、各部門の知見・知恵と現場経験の共働により問題解決に至った事例を発表する。</p>

P：生産性に関する事例

C：コスト・原価低減に関する事例

S：安全（労働安全・防災等）に関する事例

E：環境・カーボンニュートラルに関する事例

Q：品質に関する事例

D：納期・リードタイムに関する事例

M：士気・組織活動・働きがい等に関する事例

O：その他（other）

プログラム・発表情報は変更となる場合がございます。最新版は、改善事例発表大会公式サイトをご参照ください。

改善事例発表大会2026は、全国7地域で開催！！



地域	開催日	会場
東北・北海道	6月19日(金)	仙台市中小企業活性化センター
関東	6月25日(木)	曳舟文化センター
北陸	6月30日(火)	富山国際会議場
中部	5月22日(金)	ポートメッセなごや
関西	6月12日(金)	京都テルサ
中国・四国	6月19日(金)	広島県情報プラザ
西日本	6月17日(水)	海峡メッセ下関

各地域の詳細は、改善事例発表大会公式サイトをご覧ください<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>

参加お申込み

改善事例発表大会公式サイト<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>
の“参加お申込み”から



参加料（10%税込み価格）

通常価格		自主保全士 優待価格※2		TPM経営者 懇話会会員 価格※3
会員※1	一般	会員※1	一般	
19,250円	25,850円	9,900円	14,300円	ご招待

- 上記料金は、1会場あたり1名で参加する場合の料金です
- 参加料には、昼食・テキスト（資料）代が含まれています
- ※1 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会（正会員・事業所会員）、もしくは一般社団法人日本能率協会（法人会員・協賛団体会員）の会員であることが必要です
会員ご入会の有無は、下記のWEBサイトにてご確認ください
・公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
<<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>>
・一般社団法人 日本能率協会
<<https://list.jma-member.com/>>
- ※2 自主保全士優待価格の適用は、自主保全士検定試験（試験日：2025年10月26日）にて合格された方が対象となります
- ※3 TPM経営者懇話会会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM経営者懇話会の会員であることが必要です

参加申込方法・参加料支払方法

- 派遣窓口ご担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、上記のWEBサイトよりお申込みください。FAXでのお申込みはできません
- 複数名でのご参加をご希望の場合も、上記のWEBサイトにて一括お申込みが可能です
- 開催日にご持参いただく**受付票は、開催日2週間前に参加者のメールアドレスへ送付**いたします。メールアドレスを持っていない参加者は、派遣窓口ご担当者のメールアドレスをご登録ください
- お申込みの際は、**本紙ならびにお申込みWEBサイトに記載の注意事項の内容をよくご確認のうえお申込み**ください
- 参加申込みは、開催直前まで受付いたしますが、テキスト（資料）・昼食（お弁当）などご用意できないこともございますので、お早めにお申込みください
- 参加料の**請求書は、開催日2週間前より派遣窓口ご担当者のメールアドレスへ送付**いたします。請求書に記載の入金期日・銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- キャンセル規定
開催当日～7営業日前の参加取消し：参加料全額
※2026年6月8日(月)よりキャンセル不可
※キャンセル・変更の申し出は、以下URLよりお願いいたします
<<https://info-jipm.jp/contact/>>
お問い合わせ>イベント申込み後のお問い合わせ

会員以外の方は、
この機会にぜひ当会会員へのご入会をご検討ください

- 録音・録画・撮影、およびSNSへの投稿は禁止です。守られなかった場合、著作権・肖像権侵害として対処することがございます。また今後の参加をお断りすることがございます
- 免責事項
天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由により大会内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます
- 個人情報に関する取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ（<https://www.jipm.or.jp/>）をご覧ください

お問い合わせ先

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 普及推進部

TEL：0120-451-466（または、03-6865-6081） E-mail：EVENT@jipm.or.jp